

POINT
1

家具や家電製品の固定をしましょう！

大規模な地震が発生すると、部屋中の家具・家電製品が転倒してしまい、避難が遅れたり、割れたガラスや散乱した食器によりケガをする恐れがあります。

いつ起こるか分からない地震から身を守るためには、事前に家具の固定や配置などの工夫を行って、家の中でも安全確保をしておくことが大切です。

家の中での地震対策

- 金具やベルト等で家具が倒れないよう固定
- ポール式つっぱり棒で押さえて固定
- 粘着マット・ストラップで揺れの防止

補助制度

市では、家具転倒防止金具等の購入や取り付けを支援しています。詳細については、防災対策課までお問い合わせください。☎52-8008

◆家具転倒防止金具等の購入費補助

- 【補助対象世帯】
市内に住所を有する世帯
- 【補助対象経費】
家具の転倒を防止するための器具及びガラス飛散防止フィルムなどの購入に要する費用
- 【補助金額】
補助対象経費の2分の1(上限10,000円)
※1世帯につき1回限り。

◆家具転倒防止金具等の取付作業代行

- 【対象世帯】
市内に住所を有する世帯
- 【事業内容】
転倒防止金具等の取付作業を行う作業員を無償で派遣
※1世帯につき1回限り、家具5台まで。



防災特集

自らの命は自らが守る

—昨年の『平成30年7月豪雨』は、西日本に大きな被害をもたらしました。幸い人的被害はなかったものの、香美市でも全域で甚大な被害を受けたことは、皆さんも記憶に新しいのではないのでしょうか。

自然災害が発生した際に、最初に頼りになるのは、各個人・家庭での日ごろからの備え、つまり『自助』です。

自分や家族を守るためにできることを、もう一度しっかりと考えていきましょう。

災害に備える

今月号の特集では、いつ起こるか分からない、集中豪雨・大型台風の影響や巨大地震などの自然災害に備えて、皆さんが今から出来る準備・取り組みなどについて紹介していきます。

昨年の東日本台風では、関東の多くの地点で記録的な大雨となり、河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、約100名の死者・行方不明者が発生するなど、各地で甚大な被害が発生しました。

避難をしなかった・避難が遅れたことによる被災や、豪雨・浸水時の屋外移動中の被災、また、高齢者の被災が多く発生しています。

一人ひとりが災害時に適切な避難行動をするためには、日頃から災害の危険性と、とるべき行動について理解し、常に『自らの命は自らが守る』という危機意識を持つことが重要です。

次ページからは、災害への『備え』や『避難』のありかたについてお知らせしていきます。

POINT
2

避難一知っておくべき5つのポイント

『自らの命は自らが守る』の意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

新型コロナウイルス感染症が気がかりな状況でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難してください。

避 難とは『難』を『避』けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

避 難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

お 住まいのところが、避難の必要な場所か必ず事前に確認しましょう。

マ スク・消毒液・体温計の数が十分でないことも考えられます。できるだけ持参してください。また、使用後のマスクやティッシュペーパーなどのゴミを入れる袋も持参してください。

発 熱や風邪の症状がある場合など、体調がすぐれない方は、各避難所の別室で避難をしていただく場合があります。